

男女共同参画 地域推進員に聞く



半田 美智子さん(篠本一区)



伊藤 清美さん(上町)

きっかけはどこにでもあります
活動の中で出会った人達から学んだことを
自分なりに今後に活かしていきたい

多

様な生き方を認め合う社会の実現を目指して、地域での男女共同参画意識を高めるために啓発活動を行っているお二人の推進員にお話を伺いました。

地域推進員の活動は地域の課題を取り上げ、考える機会に

地域推進員は、地域での課題などを取り上げ、自ら企画・立案し実施する等の活動をしています。

私達の活動の一部をご紹介しますと、これまでの活動の中でよくテーマとして取り上げたのが「防災」でした。過去には、県主催の合同防災訓練に参加し、自分で作れる簡単防災グッズの紹介ブースを出展したり、避難所設営時に起こりうる課題に対し、どのように対応するかを地域住民と意見交換をしました。

これらの経験は、災害における様々な場面での課題を学ぶ良い機会になりましたが、同時に身近な問題であることを再認識したきっかけにもなりました。例えば、災害が発生し地域活

動を考えたときに、これまであまり女性が表立って活躍することとは多くはありませんでした。子どもや高齢者などの見守りや、介護を必要とされる方の対応には女性のサポートが欠かせないという実情があり、こういった分野への女性の参加が重要な役割を担うのではないかと考えます。

身近にも様々な分野で活躍している人達がいる

他にも毎年発行している「男女共同参画だより」があります。町内で様々な分野で活躍されている方を取材し、記事にしたものです。取材でお話を伺うたびに、身近に前向きに挑戦し続ける人がいることに驚かされ、感化されました。

地域推進員活動を通して、この機会がなければ出会えない方との交流や得ることのなかった知識もあり、見識を広げることができました。

私達はこの経験を活かし、地域の人達との関わりの大切さをそれぞれの形で伝えていきたいと思っています。